



伊豆市議会だより

No.69

2021.8.1発行

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906

新ごみ処理施設の建設と 周辺整備事業

建設中の新ごみ処理施設



完成時のラインは
ここまで

国の直轄砂防ダム(施設東)



県による施設付近の県道拡幅

目次

- 6月定例会の概要..... 2
- 令和2年度政務活動費の執行状況..... 6
- 一般質問～市政を問う..... 7
- 令和3年度議会報告会・9月定例会の予定等... 10



議会ホームページへ

令和3年6月定例会

令和3年伊豆市議会6月定例会は、5月31日から6月24日まで、25日間の会期で行いました。主な議案の質疑・討論を掲載します。

(議案一覧及び各議員の賛否・議決結果は5ページへ)

令和3年度予算

◆一般会計補正予算(第2回)

国による新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金の増に伴う市内小中学校に配備する感染症予防品の購入、中伊豆交流センター温泉ボイラー改修工事及び放課後児童クラブ運営委託料の増、定期異動及び退職に伴う職員給与等の減などにより、歳入歳出それぞれ4915万円を減額し、令和3年度一般会計予算の総額を220億9090万円とするもの。

委員会質疑

総務経済委員会

問 同報無線のデジタル化により、

形状の違いなどによって重量が増し、支柱の強度不足が明らかになったのか？

また繰越明許後、さらに増額の補正予算が必要になるのか？

答 昨年度実施設計は終了していますが、実際に点検したところ強度的に劣化・腐食しているものが多く、更新や塗替えの必要も発生し、繰越をお願いすることになりました。また現状では補正をお願いするほどの金額ではないと見込んでいますが、本議会で繰越明許費を承認されたら、9月議会において、工期の延長と若干の増額の変更契約の報告を予定しています。

問 公共施設等総合管理計画改訂の支援業務委託430万円について、法律が変わったために改訂す

るのか、あるいは公共施設の課題に依りて改訂が必要になったのか。
答 今年度、国のインフラ長寿命計画が見直されるということで、総務省から地方公共団体も同様に見直しをするよう通知があり改訂するものです。

教育厚生委員会

問 放課後児童クラブ運営委託料について、提案理由の補足説明で、加配が必要な児童が4月から入所したためとの説明だったが、対象児童は何人か？

答 支援が必要と判断された児童が2名で、支援員は、5時間だった勤務時間を7時間に増やすなど、勤務時間の調整による人件費で、1日5時間の方を一人雇うくらいの増になります。

問 中伊豆交流センター管理事業の温泉ボイラー改修工事について、再開まで約半年あるが、給湯管の劣化は大丈夫か？

答 全部を確認することはできませんでしたが、業者に給湯管の劣化について調査してもらって

条例

◆伊豆市固定資産評価審査委員会条例及び伊豆市火入れに関する条例の一部改正について

押印制度の見直しに伴い、それぞれの条例から押印について規定された内容を改正するもの。

◆伊豆市税条例の一部改正について

地方税法等の法律の一部改正に伴い、関係する条例の改正を行うもの。

【内容】

- ・個人市民税の非課税の範囲を明確化する。
- ・寄附金控除の対象となる認定NPO法人への寄付を明確化する。
- ・特定一般用医薬品購入費の医療費控除の特例期間を令和9年度まで延長する。

◆伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について

◆伊豆市介護保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の影響

ます。休館している今も温泉は止めずに流している状態を保っています。経年劣化はあると思いますが、以前とそれほど変わらないと思われれます。

討論

賛成討論

(飯田大 議員)

この補正予算は、共同浴場白岩の湯再開のための温泉ボイラー改修工事を行うというものです。伊豆への観光客を迎え、市民の健康維持、増進を計る温泉施設の再開に同意します。伊豆市公共施設再配置基本方針での新しく造ることから賢く使うことと示される対象施設と考えます。白岩の湯の泉質はリウマチへの効能が認められています。県道沿いで交通利便性、駐車スペースが確保され、伊豆市資料館・体育館・グラウンド・温泉プール等複数の公共施設があり、総合的な集客力を生かした温泉利用者の増加に伴う施設の維持管理が可能であり、雇用促進等地域振興が図れます。反面、病院移転後の人々の往來の減少による衰退感

◆伊豆市手数料徴収条例の一部改正について

マイナンバー法の改正により、地方公共団体情報システム機構が個人番号カードの発行手数料を徴収することが規定されたため、個人番号カードの再交付に関する規定を条例から削除する。

その他

◆市道路線の廃止について

市道わらべ橋線の主要施設である「わらべ橋」について、老朽化により安全な通行が確保できなくなったため通行止めをしていたが、景観を損なうなどの話を受け撤去を決定し、令和3年3月に撤去工事を完了した。

これに伴い、機能を失った当該路線の認定廃止を行うもの。



が想定されます。地元振興のために住民の要望、意見を取り入れ早期の温泉施設の再開に期待します。

賛成討論

(杉山誠 議員)

この補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策のため、市内小・中・義務教育学校に消費用アルコールなどの消耗品や、備品を配備するための予算、あるいは中伊豆交流センター温泉ボイラー修繕工事費など、多くの必要な事業費が盛り込まれています。

中伊豆交流センター温泉入浴施設については、地域住民はもちろん観光客や隣接する体育施設使用後の入浴など、多くの人に利用されてきました。

再開を望む多くの声にこたえるためにも、早期の入浴施設再開が求められます。

◆一般会計補正予算(第3回)

静岡県知事選挙に参議院静岡県選挙区選出議員が立候補したことに伴い、10月24日に補欠選挙が執行されることとなったため、その選挙事務経費として1989万円を計上するほか、新型コロナウイルス

◆水道事業会計補正予算(第1回)

定期人事異動に伴う人件費など総額264万円を増額し、予算額を7億6555万8000円とするもの。



令和3年6月定例会で審議した議案等

	件名	賛否	審議結果
予算	令和3年度伊豆市一般会計補正予算（第2回）	全会一致	可決
	令和3年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）	全会一致	可決
	令和3年度伊豆市水道事業会計補正予算（第1回）	全会一致	可決
	令和3年度伊豆市一般会計補正予算（第3回）	全会一致	可決
条例	専決処分の報告及びその承認について (伊豆市税条例等の一部改正)	全会一致	報告・承認
	伊豆市固定資産評価審査委員会条例及び伊豆市火入れに関する条例の一部改正について	全会一致	可決
	伊豆市税条例の一部改正について	全会一致	可決
	伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について	全会一致	可決
	伊豆市介護保険条例の一部改正について	全会一致	可決
	伊豆市手数料徴収条例の一部改正について	全会一致	可決
その他	市道路線の廃止について	全会一致	可決
	伊豆市指定金融機関の指定について	全会一致	可決
	財産の取得について	全会一致	可決
議員発議	伊豆市議会基本条例の一部改正について	全会一致	可決

※ 議長は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

委員会質疑

総務経済委員会

問 わらべ橋に付設されていた温泉のパイプの所有者は誰なのか、また橋の撤去により、どのように処理をしたのか。

答 温泉管の所有者は個人で、橋の撤去と共に復旧工事については市で行いました。

◆指定金融機関の指定について

現在の指定金融機関であるスルガ銀行(株)との指定契約が本年12月31日をもって満了するため、次期指定金融機関である静岡銀行(株)へ依頼をしたところ、派出手数料等の条件が見合わなかったことから、静岡銀行(株)と合意のもと輪番順を1回見送ることとなり、その次の三島信用金庫を指定金融機関として指定することについて、議会の議決を求めるもの。
指定期間は、令和4年1月1日から令和5年12月31日までの2年間。

◆財産の取得について

制限付き一般競争入札により、沼津市「株式会社島山ポンプ製作所」から消防ポンプ自動車2台を5445万円で購入することについて、議会の議決を求めるもの。

委員会質疑

総務経済委員会

問 新車種の性能と、見積もりはどのように取ったのか。

答 性能については仕様書において、サイズ、本体のシャシー、車台等しっかりと決めております。また見積りにつきましては3社から見積りを取り、その後入札によって決定しています。

問 購入価格、取得価格の財源内訳、補助金と一般財源の内訳についての説明を求める。

答 5000万円の内1000万円は県の補助金、残りの全ては緊急防災減災事業債を充てています。

議員発議

●伊豆市議会基本条例の一部改正について(災害時の議会対応)

議会運営委員会の議会BCP検討小委員会にて、伊豆市議会業務継続計画の策定検討を行い、伊豆市議会業務継続計画(議会BCP)を策定することとなりました。
先駆的に議会BCPを策定した滋賀県大津市議会、その他の議会でも、議会基本条例に災害時の議会対応として行動基準の策定根拠の条文を明記しております。
災害時にあっても、議会が議事機関として機能を維持することが求められます。東日本大震災のときのような新年度予算などの重要な議案の専決処分を安易に容認することのないよう、災害時に議会は無力、不要の思い込み、議会不要論を是認することのないよう、非常時の議会対応について議会基本条例に定める必要があるとし、本議案の1条を加えるものです。

【改正内容】

伊豆市議会基本条例

第2章 議会及び議員の活動原則と政治倫理(議会の活動原則)

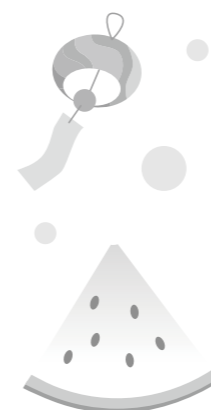
(災害時の議会対応)

第4条の2 議会は、災害時においても、議会機能を的確に維持しなければならない。

2 災害時の議会の行動基準等については、伊豆市議会業務継続計画で定める

※議会BCPとは

災害時においても、議会が議会としての機能を果たすために必要な事項を定めた継続計画のこと。



市政を問う

～一般質問～



録画配信へ

6月定例会での一般質問は、8名の議員が行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

交差点の現状認識は、交通事故の危険性が高いと感じています。また、県道から清掃センターへの進入も市道側に停車している車両がある場合は非常に困難です。

交差点改良の検討は、新リサイクルセンター整備に当たり、地元柏久保区から要望書が出されており、本年度は市道改良の予備設計を実施し、来年度に詳細設計を計画しています。また、施行時期については、清掃センターの取壊しスケジュールと調整し実施することになります。

市長 答弁 清掃センター進入路の現状認識と改良計画について

現在の伊豆市清掃センターは、新ごみ処理施設完成後はリサイクルセンターとして利用される予定になっています。

県道から清掃センターへの進入路は、変則五差路で交通事故の危険性があると思います。特に中伊豆側からの出入りが危険です。清掃センターへの進入路の現状をどう認識していますか。早急に改善しませんか。



(青木 靖 議員)

質問 清掃センターの利用の現状と課題

これから移動支援に取り組み地区が増えていくよう、4圏域ごとに配置している生活支援コーディネーターを中心に、まずは地域の現状を再確認し、その地区に合った移動支援の形態を地区の皆様と意見交換を重ねながら、移動支援の円滑な運営に向けた勉強会の開催や、協力いただける関係機関との調整を行い、法的な運用等の在り方などのサポートも含めて、市は必要な支援をさせていただきます。

健康福祉部長 答弁 移動支援の円滑な運営に向けたバックアップ

市としてはこの事に対してどのように対処していただけるか伺います。



(小川 多美子 議員)

質問 買い物で日々の暮らしを心身ともに豊かに

政務活動費について

政務活動費とは、議員の調査研究その他活動に資するため必要な経費の一部を交付するもので、地方自治法に基づき、条例で金額、用途の範囲などを定めています。

伊豆市議会では、会派及び会派に所属しない議員に対し、1人当たり月額1万5千円を交付することとし、議員の資質向上のための調査研究や資料購入などに活用しています。

また、経費の範囲や用途について透明性の確保に努めるため、各会派及び議員の会計資料(領収書、収支明細等)を公開しています。

令和2年度政務活動費の執行状況

令和2年度は市議会議員の改選が行われたので、前期(4月～10月)と後期(11月～3月)それぞれの収支結果を掲載します。また、昨年度前期は、新型コロナウイルスの流行による生活困窮者対策費の財源として政務活動費の一部を執行せず返還することを議会全員協議会で取り決めました。

令和2年度前期(4月～10月)

(単位:円)

会派・個人名	所属人数	収入					支出		返還額
		交付金	研修費	資料作成費	資料購入費	事務費	支出計		
IZU未来	7人	735,000			155,088		155,088	579,912	
市民第一クラブ	2人	210,000			30,100		30,100	179,900	
伊豆クラブ	2人	210,000			76,559		76,559	133,441	
木村建一		105,000			14,260		14,260	90,740	
森 良雄		105,000	5,880		71,069		76,949	28,051	
西島信也		105,000			53,900		53,900	51,100	
杉山武司 ※		105,000			115,367		115,367	0	

※ 支出額が交付額を上回った分の金額は自費

令和2年度後期(11月～3月)

(単位:円)

会派・個人名	所属人数	収入					支出		返還額
		交付金	研修費	資料作成費	資料購入費	事務費	支出計		
IZU未来	11人	825,000	304,604	110	114,335		419,049	405,951	
伊豆クラブ	2人	150,000	60,920		54,685		115,605	34,395	
小川 多美子		75,000	30,460		26,080	1,887	58,427	16,573	
鈴木 正人		75,000					0	75,000	
杉山 武司 ※		75,000			82,165		82,165	0	

※ 支出額が交付額を上回った分の金額は自費

質問

修善寺 虹の郷



(星谷 和馬 議員)

総面積50haの広大な面積を有し、ハード面でも大変恵まれています。伊豆市最大の観光施設です。近年は社会ニーズの変化等に対応出来ず来園者は大幅に減少していますが、コロナワクチンの接種が進めば経済が復活し入園者の増加も期待できます。

- ①来園者を増やす課題
- ②将来どのような虹の郷にするのか

長弁 多くの方々が訪れたく市答 なる施設を目指します

開園以来30年が経過し、社会経済状況や利用される方のニーズも大きく変貌してまいりましたが、これからも多くの方々が訪れたいとする施設を目指してまいりたいと考えます。

長弁 産答 ①来園者を増やすための課題として、団体旅行から個人旅行への変化、体験やテーマ性を追求する観光ニーズへの

変化など観光を取り巻く環境変化の中で、旅行ニーズに対応したコンセプトの造成や施設の老朽化などが課題であると認識しております。②施設の機能転換や民間活力の導入など考えうるあらゆる手段について検討し、入園者数の復活を目指していきたいと考えております。

質問

伊豆地域への修学旅行の誘致について



(波多野 靖明 議員)

新型コロナウイルスの収束が未だに見えてこない今、中学・高校とも海外を修学旅行先に指定していた学校も多く、昨年は修学旅行の中止という判断の学校もございました。修学旅行は学校生活の中でも、生徒にとつては大きな楽しみの一つ。ジオや歴史の詰まった伊豆半島へ修学旅行の誘致を進めることは有効だと思えますがいかがでしょうか。

長弁 市答 修学旅行誘致は有効な手段

修学旅行は、学校生活における最大の楽しみの一つであり、事前学習や旅行中の地域の人々との交流やふれあいなど、より地域を深く理解してもらえ絶好の機会と考えます。また、訪問される子供たちが将来伊豆へのリピーターや定住にもつながる可能性を持つ大きな効果があるものと期待しております。道路事情もよくなりこれまでマーケットとして小さかった北関東や、甲信越地域からの誘致も期待したいと思います。こうしたチャンスを生かし、新たな伊豆ファンの獲得、交流人口の増加による観光産業の振興に向け、伊豆地域への修学旅行誘致は有効な手段と考えております。

質問

不妊・不育症治療費 助成の現状は



(間野 みどり 議員)

本年1月から静岡県の特定不妊治療費助成制度が拡充され、所得要件・助成額・助成回数・婚姻要件が変更になり、利用者の負担も軽減されると思います。利用者の立場からどんなメリット・デメリットがありますか。

また、利用者のために市はどのような心のケアと共にサポートを考えていますか。

長弁 健康福祉部 答 県の制度改正による負担軽減と市の関わり方

静岡県の特定不妊治療費助成制度が拡充され、対象となる範囲が広がり、助成額も増額となることから、利用者の経済的な負担が軽減されると思われます。伊豆市においてはこれまで、所得や治療内容の制限を設けていないため、静岡県の助成制度の対象とならない治療範囲も市の助成対象としています。また、市が心の相談に応じる際には、子どもを産み育てたいという相談者の心からの願いに寄り添った対応を心がけることが極めて重要であると考えております。

質問

新しい働き方「協同労働」で地域を元気に



(杉山 誠 議員)

働く人が自ら出資し、経営にも携わる「協同労働」という新しい働き方を促す、労働者協同組合法が昨年12月に成立しました。

広島市で行われているモデル事業では、耕作放棄地の手入れや住民の居場所づくりなど、働く人が主役となって活動しています。

地域課題の解決に向けて、「協同労働」の仕組みを活用しませんか。

長弁 市答 全国の先進事例を参考にまずは調査研究を進めます

新しい働き方である協同労働における「地域のことは地域で解決していく」という考え方は、伊豆市でも取り組んでいる地域づくり協議会の制度に近いものがあり、正にこれからの時代に合った取組だと思えます。また、幅広い年代や分野で、その知識・技能を生かして活躍する場づくりは、生きがい対策や地域づくりにおいて必要なものだと考えますので、全国の取組事例を参考にしながら研究調査を進めていきたいと考えています。

質問

中伊豆地区再開発計画は？ 地区住民との対話を



(三田 忠男 議員)

中伊豆地区の将来像の検討状況、今後の計画推進において、地区住民との意見聴取、対話の現状を伺います。白岩・八幡・八岳・冷川等、それぞれの地区のまちづくりのための、個別の施策の現状について伺います。

長弁 総合政策部 答 地域の皆様と対話を重ね計画を進めます

中伊豆地区では、今後、学校の再編成と中伊豆温泉病院の移転をきっかけとしたまちづくりが求められていると考えています。

そのような中、八幡地区では公共施設など都市機能の集約を行いつつ、八岳地区や大東地区では生活環境を維持するための取り組みを考えると、白岩地区では温泉病院を核としたまちづくりをどのように位置づけていくのかなど、それぞれの地区の皆様と話し合いをしながら検討を進めてまいります。



質問

文学の郷づくり



(浅田 藤一 議員)

天城会館・井上靖先生が幼少期を過ごした旧邸跡・仮称文学の郷公園・弘道寺・市民活動センターを結ぶラインを、小説に登場するような大正ロマンを感じさせる、本を片手にそぞろ歩きが楽しめるような整備が出来れば文学の郷としての魅力がさらに上がり、立ち寄りやすい場所として内外にアピールできます。お考えをお聞かせください。

長弁 教育 答 地域と連携した文学の郷づくり

文学の郷づくりは、観光協会天城支部と連携しつつ、上の家を改修し、拠点としての活用に向け準備を進めます。また市内の中学校・義務教育学校では、「天城学習」等の内容を共有し、伊豆市の文化として取り上げていきたいと思えます。

長弁 産業部 答 伊豆市版DMO事業を推進します

観光ニーズが多様化する中、温泉・食・宿といった観光資源に加えて新しい観光地経営としての伊豆市版DMO事業を推進するため、旅行者に深い体験や新鮮な感動を提示するための持続可能な仕組みを構築することが極めて重要と考えております。伊豆市版DMO事業の推進に、そぞろ歩きを楽しむ風情のある整備が加わればその効果はさらに高められるものと考えております。

令和3年

議会報告会の開催について

伊豆市議会では、市民の皆様には議会活動や市政について報告するとともに、ご意見やご提言などを伺うため、議会報告会を行っております。昨年度はコロナ禍により開催を見送りましたが、前年度に行った議会報告会で市民の皆様からいただいた市政に対する要望・意見を取りまとめ市に提出した結果、令和2年度の事業として予算計上された内容について発表する予定でした。現在、報告内容は市のホームページで公開しております。

今年度の議会報告会は、オンライン開催など、コロナ禍に対応した開催方法を模索しております。

詳しい内容が決定次第、市民の皆様にお知らせいたします。



令和2年度議会報告資料
(ホームページへ)

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができますが、現在、感染症対策のため傍聴席へ入る人数を制限しています。傍聴を希望される方が10名を超える場合は、別室で中継映像による傍聴となります。

本会議は、インターネットによる生中継と録画配信も行っています。ぜひご覧ください。

その他、傍聴に関するお問い合わせは議会事務局（055817219906）までご連絡ください。

9月定例会の予定

場所 本庁2階 議場
時間 午前9時30分～

9月1日（水）議案上程
7日（火）一般質問1日目
8日（水）一般質問2日目
9日（木）一般質問3日目
13日（月）議案質疑
30日（木）委員長報告・
討論・採決

※変更となる場合があります。
ご了承ください。

9月定例会 委員会の予定

場所 本庁2階 議場
時間 午前9時30分～

9月14日（火）連合審査会
15日（水）連合審査会
16日（木）総務経済委員会
17日（金）教育厚生委員会

編集後記

オリンピック聖火リレーが伊豆市でも無事に行われました。修善寺小学校から総合会館まで、トーチを掲げたランナーが各々の思いを胸に笑顔で走りました。伊豆ベロドロームでは自転車競技の熱戦が繰り広げられています。この大会で伊豆市の知名度も上がることでしよう。

コロナウイルスのワクチン接種も順調に進んではいますが、終息の声はまだ聞こえません。3密を避け、手洗い、マスクの着用は引き続き心掛けましょう。

広報委員 小川多美子